

学校概要

尾崎小学校は、各務原市の北西部に位置し、昭和51年4月に開校した小学校です。昭和47年から51年にかけて、権現山と三峰山の間を切り崩して、大がかりな団地造成が行われ、県住宅供給公社の住宅と、県営住宅を合わせて約4千戸の住宅と小学校を建設されました。

当初は、現在よりも低いところ（商店街の高さ）に学校を建てる予定でしたが、校地造成中にオイルショックによる物価の高騰や、かたい岩盤の出現などで工事が順調に進まなくなったため、現在の位置で校舎を建築することになりました。開校時は児童数279人（9学級）という小規模校であったが、昭和60年には、児童数が973人（25学級）に急増しました。現在は少子化が進み、児童数380人（14学級）（平成28年5月現在）になりました。

校区は「北洞」「北町」「南町」「西町」「柄山」の5地区から成り、地域の住民は学校の教育活動に協力的で、様々な学習で支援を受けることができます。



尾崎小学校 なかよし宣言

- ♡ 相手の気持ちを考えて行動します。
- ♡ 相手をきずつける言葉をなくします。
- ♡ 一人でも、
注意したいやめたいできる
強い心の自分になります。



尾崎小学校児童会



尾崎小学校の児童は、明るく素直であり、全校的に心をこめた気持ちのよい挨拶ができます。登校途中のゴミ拾いや、始業前の朝掃除など、ボランティア活動を年間50回以上達成する児童が年々増加しています。児童会活動では、なかよし集会やひびきあい集会を通して、相手を思いやる心を育てています。平成25年度に採択された「尾崎小学校なかよし宣言」等のいじめを防止する取組が、人権に関する特色ある実践例として文部科学省のホームページにも紹介されました。

特に、6年生の朝掃除は、伝統として長く受け継がれています。凍り付くような寒い冬の日でも、廊下をひざまづいて雑巾がけする姿が毎日見られます。近年は5年生をはじめ、下学年にもその輪が広がっています。卒業した6年生も、桜丘中学校でも朝掃除を始め、中学校にもその活動の輪が広がっていくのはうれしいことです。

平成27年に創立40周年を迎え、地域の皆さんをお招きし、盛大に記念式典を開催しました。このように、授業参観や運動会、劇鑑賞会、児童集会など、積極的に学校の行事を広く地域の方にも開放しています。

ふるさと尾崎の一員として誇りをもって生きる力の育成を目指して、家庭や地域の協力を得ながら、日々の教育活動を行っています。

美濃の平野を見おろして 夢は広がる世界まで
ふるさと尾崎 つくろうと 大きく生きるよ 尾崎の子
校歌より